



もしかして、うちの子って… バカ？

学校でも塾でも「授業はどうだった？」と聞くと「わかった」と答えたうちの子。宿題もちゃんとやってたから安心してたんだけど、テストの結果にがく然！「あんた全然、わかってなかったのね… ☆」



『もしかして、うちの子って…？』



ウェブサイト rosinante.jimdo.com
eメール mail_rosi@ybb.ne.jp

「わかった」と「できる」は全然ちがいます

ほとんどの子どもは、授業を聞いて「わかった」と思います。それは間違いではありません。よほど下手な先生でないかぎり、子どもたちは授業を理解できます。

でも「わかった」と「できる」は違います。**しかも**、はなはだしく違います。子どもたちの間違いはここです。

安心してください。みんなそうですから。

そして、多くの親御さんもこの点を勘違いしています。「わかった」のだから「できる」だろうと。

「わかった」ので「できる」子はほんの一握りです。安心してください。みんな「できない」んですから。

「わかった」からが勉強



でも、そこで安心してもらっても困ります（ちょっと矛盾してますが）。「できない」ままでは困ります。

ではどうしましょう。勉強しましょう（バカにしているわけではありません）。勉強は「わかった」で終わるのではなく、「わかった」から始まるのです。

人間は必ず忘れます。これはやむを得ない事実です。大人なら経験から、忘れないための策を講じることができます。コツや工夫をこらします。でも、無防備な子どもは、見事なほどきれいに忘れてくれます。

忘れたら、くり返す



ならばくり返しましょう。わすれたら、またくり返しましょう。

「〇〇メソッド」とか、タブレットなど最新ガジェットを導入したりして、なんとなく『科学的に』効果的な学習を印象づける塾が多いようです。毎年、たくさんの参考書が出版され、最新こそ最良と言わんばかりに受験生の購買意欲をそそっています。

が、勉強の仕方は江戸時代の寺子屋のそれからほとんど変わっていません。「読み、書き、そろばん」がそれです。すなわち、基本の反復です。

ルーティーンを大事に



ロシナンテ英数塾では、単元ごとの確認テストをくり返します。満点をとるまでくり返します。間違えた問題のやり直しを重視します。やり直しの〇つけを子ども自身にさせ、〇つけが正しくできているかを講師が責任もって確認し、指導します（〇つけが正しくできない子が、実に多いのです）。

自分の間違いパターンを「ミスノート」に記録し、授業と自宅学習前に必ず読ませます。ミスノート1枚を破くこと（ミスパターン1つを克服すること）が1日の1つの目標です。

やり直し、〇つけ、ミスノート… これらの基本動作（ルーティーン）を身につけることで、学習の力は増していきます。

ロシナンテ英数塾
電話 096-389-5706
長嶺東4-3-3 講師 別所裕二

小 1~6 個別算数・英語
週1回 5,000円
中 1 2 英数 週2回 10,000円
中 3 英数 週2回 12,000円

時	曜	月	火	水	木	土	日
4:00							
5:00							
6:00				個別			6:00
7:00						7:00 中2	中3
8:00		中1	中2	中3	中1	~9:00	~9:00
~10:00							

